

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2071800037		
法人名	社会福祉法人敬老園		
事業所名	グループホームかみやまだ敬老園		
所在地	長野県千曲市上山田2871-1 (電話) 026-275-6511		
評価機関名	特定非営利活動法人長野県高齢者福祉協会		
所在地	長野市南長野南県町1001番地3ロワール丸ビル4階		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	平成20年9月19日

【情報提供票より】 (20年7月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	~1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	400 円	おやつ	昼食に含む 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要 (8月27日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1	要介護2	3		
要介護3	2	要介護4	3		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 86.4 歳	最低	78 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長野赤十字上山田病院、千曲荘病院、大塚歯科医院、林歯科医院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長野県千曲市の南部、上山田温泉の閑静な住宅街にグループホームかみやまだ敬老園がある。車では通り過ぎてしまうほど施設らしくなく、一住宅のように街の中に溶け込んでいる。社会福祉法人敬老園の蓄積されたノウハウが施設内に生かされており、入居者に配慮された造りや備品が落ち着いた家庭的な雰囲気を演出して入居者が自分の家のように生活している姿が印象的である。小さな施設では困難なことも法人本部からの連携(サポート)体制により、職員にゆとりと明るさを感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議ではボランティアの紹介や防災に関しての地区の会長からの意見等、一方的なものではなく意見交換が行われている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員で外部評価に関する意義、問題意識を共有して作成している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の中でボランティアの紹介や運営に関するアドバイスをいただき、その内容を毎月の会議で話し合い運営に活かしている。また報告書を作成し、家族等に内容の報告をしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	年に2回家族会を開催しその中で様々な意見をいただき、反映させている。また職員の異動等の不安解消のため、全職員の顔写真付きの広報誌を発行して紹介している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 建物を所有する大家さんが隣に住まれている為、様々な部分でお手伝いをいただき、連携が取れている。また自治会の総会の出席や回覧版に目を通す等、地域の状況の把握に努めている。積極的に地域のイベント等にも参加している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、母体組織の理念そのままではなく、独自に作り上げたかみやまだ敬老園の理念を掲げて取り組んでいる。	○	「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」を理念に加えることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	食堂に大きく理念が掲示されており、毎朝朝食後に職員と利用者が一緒に唱和するなどして共有を図り一日の活動意欲を高めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りや文化祭に参加している。本年はNHKの「のど自慢」千曲市合併5周年大会の予選に、管理者と入居者が出場するなどして交流をはかっている。地域の回覧板は入居者全員が目を通して地域の情報の把握に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を十分理解して、全職員で自己評価に取り組んでいる。改善点は職員会議及び運営推進会議の議題として見直しを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施している。前回の課題の経過を報告し合い検討を積み重ねていくようにすすめている。評価結果で明らかになった課題についてモニター役になっていただくなどして機能している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する会議、施設部会等には毎回出席して情報交換をしている。また、市から派遣される介護相談員を毎月2名受け入れておりホームと入居者の様子も見ていただきながら連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員の異動等については全職員の顔写真付きで紹介されており安心感がある。また日頃の状況は電話や来園された際に報告しており、金銭出納帳等は管理者がいなくても提示できるような仕組みとなっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より、家族とのコミュニケーションを大切にし、年2回、家族会を設けている。そこで出された意見、要望は職員会議で検討して運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者、家族との信頼関係を築くためにも職員の移動、退職時には新旧交代者が重複勤務してダメージを最小限に抑えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の教育研修部による研修や事業所独自の研修等年間計画を立て、確実に実施している。またフィードバック研修も行い進歩の確認を行っている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム同士で管理者連絡会を設けている。現段階では情報交換程度ではあるが、形式的なものでないよう進めていくことが望まれる。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>歌が好きな方は歌を楽しんでいただく等本人の好きなことをきっかけに場の雰囲気に馴染めるように工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昔からの言葉や生活様式を教えていただいたりと様々なことを職員はご利用者から学んでいる。お互いが協働しながら支援する側、支援される側の意識を持つことなく過ごしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話において職員から積極的に希望を伺っている。その中から夜間入浴やニーズに合った整髪、買物等実施している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のかかわりの中でご利用者のニーズを伺い、面会時に家族とは話し合いを設けている。それらを踏まえ毎月1回実施している処遇会議で介護計画に向けた話し合いを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や訪問看護、医師と連絡をとり毎月の処遇会議で短期目標期間が終了する前に見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	毎月2回ナイトケアやデイサービスの時間延長等ご利用者の希望に添い実施している。またご家族の都合によっては受診の送迎を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の希望により主治医を決定している。基本的には家族が同行しての受診となるが都合により職員が送迎している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>看取りの指針について入居時にご本人、ご家族に説明すると共に、看取り介護に関する同意書をいただいている。ご利用者を最期まで支援することについて全職員が意思統一されている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに関して法人内の委員会で勉強し、それを事業所に持ち帰り処遇会議で話し合っている。個人情報の取扱についても全職員が理解すると共に退職された後も個人情報の漏れが無い様に誓約書を締結している。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の基本的な流れはあるが食事の時間等は遅らせたり、希望により部屋で食べていただくこともある。また入浴を拒まれる方には気分のいい日に入ってもらったり、夜間の入浴も実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、片付け等利用者と共に行い、職員も同じテーブルと一緒に食べている。また嫌いな食べ物は代替で対応している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回は入浴していただき時間はそれぞれで、毎日や1日2回の入浴も対応している。入浴を拒まれる方は気分の良い日に入っていたい。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地区や学校の運動会への参加や児童会のイベント等への参加、老人クラブの慰問等で楽しんでいただいている。また日常生活において個々に役割があり生きがいにつながっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	以前に行かれていた好みの場所に外食にでかけ楽しんでいただいている。またごみ捨てに行きながら、散歩し児童館によることもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が居室、玄関は緊急時以外は鍵を掛けないケアを理解されており、ご利用者が単独外出された場合は見守りをしている。また隣に大家さんが住まれており、連携が取れている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回地域の方にも参加していただき、避難訓練を実施している。また運営推進会議にて地区の会長から意見をいただく等協力していただいている。	○	法人本部での備蓄品はあるが事業所での備蓄品がない為、たとえ一食分でも備蓄しておくことが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人本部の栄養課が栄養管理をされており、週単位で献立を作成し、食材も本部より納品される。食事量、水分摂取状況等は把握し嫌いなものがあれば代替にて対応している。行事等の際は本部からの献立を止めて買出しにいかれる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、リビングは落ち着いた雰囲気であり生活観が感じられる。リビングには大きな丸いテーブルがあり、やわらかな雰囲気となっている。また一角に図書コーナーもあり随所に様々な工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたものや写真などが飾られている。また全室冷暖房が完備されており居心地のよい空間となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。